

令和2年度科学技術イノベーション関係予算に関する決議（案）

令和元年7月31日
自由民主党 政務調査会
科学技術・イノベーション戦略調査会
知的財産戦略調査会

国の競争力の源泉はイノベーション力であり、科学技術イノベーション政策の役割は益々重要になっている。そのため、科学技術イノベーションを巡る国内外の変化は著しく、世界各国が凌ぎを削っている。我が国が国際競争に打ち勝ち、持続的な成長を実現するためには、破壊的イノベーション創出とその実装を通じた飛躍的な生産性向上が不可欠であり、科学技術イノベーション政策の改革・改善の手を緩めてはならない。

基礎研究力については、論文の質・量ともに国際社会における相対的順位の低下が指摘されており、基礎研究力の強化が急務である。スタートアップについては、世界と比較して「周回遅れ」の状況となっており、我が国の潜在力を最大限発揮できる環境整備が急務となっている。さらに、破壊的イノベーションは、経済・安全保障に加え、人の働き方など実生活に直接的な影響を与えるため、取組の強化が不可欠である。また、これからのイノベーション政策には、社会との対話を通じた科学技術の健全な発展が必要であり、人文・社会科学との連携・融合（文理融合）が益々求められる。

さらに、「知的財産推進計画2019」（6月21日知的財産戦略本部決定）においても、「価値デザイン社会」の実現に向け、オープンイノベーションの促進やクールジャパン戦略の持続的強化が盛り込まれたところである。

こうした観点から、両調査会として、令和2年度予算の編成に向けて、統合イノベーション戦略推進会議を中心とした関係本部・府省庁の連携・協力の下、下記事項に関する予算を着実に措置するとともに、政府研究開発投資目標（対GDP比1%、総額26兆円）を確実に達成するため、科学技術イノベーション関係予算全体を抜本的に拡充することを政府に対して求めることを決議する。

【基礎研究をはじめとした研究力の抜本的強化及び大学改革】

- 野心的な目標及び構想に基づきムーンショット型研究開発を継続的に充実させ、破壊的イノベーション創出を加速させるとともに、研究者が挑戦的構想をもって創発的研究を促進するための資金・環境を整備し、研究開発制度の改革及び基金型制度の活用を図ること。
- イノベーション・エコシステムの中核となる大学や国立研究開発法人のビジョン、及び大学ガバナンスコードを策定するとともに、国立大学法人運営費交付金等の改革及び外部資金獲得の強化を通じた財源多様化等により、大学等の経営環境改善を図り、大学改革を促進すること。
- 若手研究者や女性研究者の活躍促進を含む研究環境の整備、新興・融合領域の開拓に資する取組の強化など、研究人材、資金、環境の改革を大学改革と一体的に展開する「研究力向上改革2019」を確実に実行するとともに、基礎研究をはじめ我が国の研究力を総合的・抜本的に強化するため、「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」（仮称）を早急に策定し、実行すること。
- 研究設備の更新及び共用並びに最先端研究インフラの整備及び共用を推進し、より研究に打ち込める環境を整備すること。
- Society 5.0の実現に向けて、分野間データ連携基盤及び分野ごとのデータ連携基盤を、相互運用性及びセキュリティを確保しつつ整備すること。また、研究データ及びその活用を支える情報基盤についても整備すること。
- 全ての科学技術イノベーションを支えるAI、バイオ、量子等の重要分野においては、国のリソースを総動員し、国家戦略に基づき、人材育成、研究開発の強化等の取組を着実に実行すること。
- 防災、健康・医療、宇宙、海洋、環境・エネルギー、安全・安心、セキュリティ及び国土強靱化等国家的・社会的重要課題の解決に貢献する研究開発及び人材育成を推進すること。

【イノベーション拠点都市形成】

- 世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市の形成、研究開発型スタートアップの資金調達等（Gap Fund）の促進、スタートアップ促進型の公共調達制度の検討等を着実に実施するなど、創業環境の抜本的な強化を図ること。
- 地域の大学等が持つ優れた研究資源を基に、地域の企業が事業化・産業化を実現する環境や、中小・ベンチャー企業のイノベーション創出環境を整備すること。

- 国際競争に打ち勝つため、早期にバイオ、量子分野の国際研究拠点を形成すること。
- スマートシティの実現に向けて、政府一体となったスマートシティ基盤を構築し、この基盤の上で機能するスマートシティプロジェクトを全国的に実証するとともに、国際的な連携も推進すること。また、実証成果の横展開に必要な制度の検討・整備を進めること。

【G空間社会の実現】

- G空間社会に不可欠な準天頂衛星システムについて、令和5年度めどの7機体制の確立及び機能性能向上と、これに対応した地上設備の開発・整備及びセキュリティ対策の強化を着実に実施すること。
- G空間情報の流通と利活用の向上のためには、分野を超えたデータの相互運用性を確保するデータ連携基盤が不可欠であり、G空間情報センターの機能強化を図ること。
- 農業機械の自動走行や無人航空物流をはじめとしたG空間プロジェクトを政府一体となって強力に推進し、G空間情報を使った高度な技術の社会実装を展開すること。

【科学技術イノベーションの戦略的国際展開】

- 優れた研究成果の社会実装を促進し、途上国のSDGsの達成に貢献するため、ODAと連携した国際共同研究を強化し、STI for SDGsを推進すること。
- 研究開発における国際ネットワークを強化するため、国際共同研究プログラムの抜本的拡充を図ること。
- 大学等における人材流動化及び国際化を抜本的に強化すること。

【科学技術イノベーション政策の更なる強化に向けた検討の具体化】

- 科学技術基本法における、イノベーションと人文科学の位置付けの見直しを進めるとともに、令和3年度から5か年の次期科学技術基本計画策定に向けた検討を着実に進めること。大学・国研の共同研究機能等の外部化を可能とする制度創設に向けた検討を加速すること。
- 科学技術イノベーション政策やプロジェクト・研究課題の評価体制の構築、透明性の確保及び科学技術イノベーションの司令塔機能の更なる強化を図ること。